



企業の明日を 創る

Connected. Powered. Trusted.

home.kpmg/jp/kc

目次

01	現在地から見える未来	P4
02	ビジネスの力を結集して未来を掴む	P6
03	点をつないで、効果を上げる	P7
04	ビジネスに力を与え、価値を高める	P8
05	信頼を勝ち取り、自信をもって成長する	P9
06	KPMGをパートナーとする5つの理由	P11
07	サービスの事例	P12
08	大小さまざまなニーズに対応	P22
09	深い洞察力が可能にするオーダーメイドのソリューション	P24
10	世界に光を灯す	P26
11	私たちが待ち受ける未来	P30

現在地から見える 未来

CEOの4人に3人が、自身が属する業界のディスラプションリーダーでありたいと考えていますが¹、多くは変化の規模とスピードに対応しきれずに苦戦しています。組織改革が必要であると理解はしているものの、何から始めればよいか、どう取り組めばよいかわかりかねています。

ここ数年、KPMGは未来に目を向け、企業とともに各業界、ビジネス機能、グローバル市場、デジタルがどう変わっていくのかを見極めようとしてきました。また、対応を進めていくための実際のかつ実行可能な方法についても検討してきました。こうした取り組みにより、高パフォーマンスおよび利益を伴う成長の実現への詳細な道のりを示す体系化されたインサイト（洞察）、ツール、ソリューションを蓄積してきました。

先行きは不透明かつ不明瞭であるものの、21世紀において組織が持続的な成長と成功を実現する方法があり、大まかではあるものの、それがどのようなものであるかがわかってきています。

KPMGは未来に向かって新時代を築いていくためのインサイトや、企業ごとに有効な方法・そうでない方法を示すことができます。自社の優先事項や機会に基づく革新的でリスク強化されたトランスフォーメーションジャーニーを進めていくために、実行可能なロードマップをともに作成しましょう。

1 KPMGグローバルCEO調査2019

はじめに：以下の質問に どのように答えますか...

自社のビジネスは顧客の期待の変化に対応する準備ができていますか？

自動化は規制の変化に対応できるか？

人工知能など最先端のテクノロジーを活用できていますか？

データから貴重なインサイト（洞察）を導き出すにはどうすればよいですか？

自社のビジネスはあらゆる側面においてデジタル化の準備ができていますか？

社員のスキルは未来の働き方に対応できるか？

競争を避けディスラプションを起こすにはどうすればよいですか？

自社のビジネス全般においてステークホルダーの信頼を築いていますか？

ビジネスの力を結集して 未来を掴む

原則に基づいて未来の環境に対応可能なビジネスを構築するのであれば、顧客と体験、人材とテクノロジー、データと意思決定、インプットと成果のつながりを強化すべきです。

レガシーや慣習にとらわれず、実行可能な措置を追求するのであれば、テクノロジー、独自のインサイト、人工知能の力を利用して実効性、効率、俊敏性を高め、最終的に高パフォーマンスを実現すべきです。

不安定、不確実、複雑、不明瞭な世の中で成功し、成長するためには、あらゆる取組みにおいてリスクを勘案・最適化し、消費者の信頼を得ながら自信を持って継続的にビジネスイノベーションを起こしていくための強固なプラットフォームを構築しなければなりません。

これらの取組みを最適な方法で行い、つながり（Connected）、エンパワーメント（Powered）、信頼（Trusted）を指針とすれば、ビジネスに与えるインパクトを倍増させることも可能かもしれません²。



顧客を中心にビジネスを再構築し、人とテクノロジーの関わりを通じて生産性と価値創造が高まるボーダレス組織を作る。

俊敏性に富み拡張可能なビジネスを築く。最新のテクノロジー、優れたビジネスプラクティス、検証済みのソリューションを利用し、よりスマートな方法かつ短期間で適切なオペレーティングモデルを構築する。

コンプライアンスやオペレーション、トランスフォーメーションサイクルに至るまで、積極的にリスクと規制を管理し、ステークホルダーの信頼を築く。

2 Eight capabilities of a connected enterprise, Forrester and KPMG, 2016, 2018

Connected.

点をつないで、 効果を上げる

今日の顧客はかつてないほど多くの情報を持っており、要求も厳しくなっています。市場の変化も速く、ディスラプションが継続的に起きており、新興企業が従来の秩序を脅かしています。デジタルの世界において持続的な成長を実現するには、顧客中心主義の新たな秩序、すなわち「すべての機能部門でプロセスの統一を図り、テクノロジー、社員、外部パートナーが連携し、効果的かつ利益の出る方法で顧客の希望を満たすこと」が必要です。

成功するためには縦割りの組織・プロセスを壊し、つながる（コネクテッド）ことが重要となります。KPMGが提唱する取組みである「KPMG Connected Enterprise」では、8つの能力を明確に定義しています。これらの領域に目的を持って投資している組織は、顧客の期待に応え、ビジネス目標を達成し、デジタルへの投資で利益を得る確率が2倍に高まることが確認されています。

この8つの能力の1つひとつを実現することが望ましいのは明白です。しかし、これらを組み合わせることにより、変革の効果が飛躍的に高まります。KPMG Connected Enterpriseは、業界最先端のインサイト、成熟度診断、業界ブループリント、ターゲットオペレーティングモデルを提供し、変革の推進と加速化を支援します。8つの能力すべての向上を図りながら、どこからどのように着手すればよいかを示し、達成のために必要なあらゆるサポートを提供します。

この変革後の体制下では、すべての要素が意図されたカスタマーエクスペリエンス（顧客体験）の実現に注力されており、無駄なものはなく、新しい価値の源が顕在化します。深いインサイトに基づく意思決定が破壊的なイノベーションを形成します。

そして、テクノロジーの進化により顧客と社員の体験が一体化し、自動化に人間の判断、機械学習、感情が結び付きます。すべての投資は、利益を得ながら適切なカスタマーエクスペリエンスを提供できるような形で行われます。コネクテッドシンキングで肝心なのは共通の利益です。顧客、同僚、そしてより広範なエコシステムを形成するステークホルダー、パートナー、コミュニティの全員が価値創造の好循環の恩恵を受けることが重要です。KPMG Connected Enterpriseはデジタルテクノロジーの力を利用し、価値を高め、信頼を築くことで、最も重要な目標の実現を支援します。

ビジネスを
つなぎ、
2倍の効果
を得る。

Powered.

ビジネスに力を与え、 価値を高める

誰もがアジャイルで効率的、かつ未来の環境に対応可能な組織を構築したいと望んでいます。継ぎはぎだらけで古くなった従来の組織を刷新し、ビジネス機能の変革を加速化するにはどうすればよいでしょうか。これはビジネスリーダーにとって大きな問題です。96%の企業が変革に取り組んでいる一方で、自社が新しいオペレーティングモデルを構築し運用するのは難しいだろうと考えている企業幹部は83%に上ります³。

クラウドコンピューティングの力を利用して障壁を壊し、俊敏性を高め、パフォーマンスと効率を大幅に改善する、というのがその答えです。これは、レガシーシステムを他社のサーバー上に再構築するというものではありません。クラウドは、予測的アナリティクスや人工知能、機械学習など飛躍的進歩をもたらす他の技術を支える基盤となるものであり、デジタルオペレーティングモデルへの移行が実現可能になります。

KPMGは、ビジネスの未来を想像し、実行可能な取組みを手助けをすることで、ビジネス機能の変革にいち早く取りかかれるよう支援します。経験に裏打ちされた方法と手段、検証済みのソリューション、次世代のデリバリーフレームワーク、将来的なアップグレードと継続的な進化のための実践的な支援を提供します。あらかじめ設定されたブループリント、サービスデリバリーモデル、マスターデータ管理、他の同様のビジネスで実証済みのツールを、企業の戦略、文化、ビジネス環境に合わせて微調整し、カスタマイズします。

KPMG Powered Enterpriseはさまざまな機能やテクノロジープラットフォームに対応しており、フロントオフィス、ミドルオフィス、バックオフィスのすべてに導入可能です。データの新しい使い方・共有の仕方を提供し、コラボレーションを促進し、円滑なビジネスを支援することで、真に顧客中心のコネクテッドな組織になるための土台を形成し、従業員の働き方や意識の変革も可能となります。KPMGは最適なテクノロジーとビジネスに対する高い思考力を利用し、組織の目標と優先事項を起点に、自信を持って新しいオペレーティングモデルへ移行することを可能にします。

³ KPMGグローバルCEO調査2019

Trusted.

信頼を勝ち取り、 自信をもって成長する

賢明な企業は単にリスクを管理するだけでなく、リスクを用いて他社との差別化を図ります。未来を見据えた組織は、インサイトに基づく積極的なリスクの最適化によって価値を生み出します。起こりうる事態をより幅広く、より深く理解すれば、それが実際に起こる可能性は減ります。信頼されている企業は単に安心して仕事を任せられるだけでなく、自信に満ちた破壊的なイノベーターでもあるのです。

ビジネスの成長を脅かすものは次から次へと出てきており、突然現れることも少なくありません。規制や政策環境は常に変化しています。サードパーティリスク、風評被害、規制の一方向的な変更などのオペレーショナルリスクは今なお存在します。変革の各段階で、これらすべてのリスクに対応しなくてはなりません。

しかし、リスクの増加とともに、リスクを予測し、低減し、逆にリスクを利用して利益を得る手段も増えています。例えば、サイバーセキュリティの問題はほとんどのCEOが挙げる上位5つの優先事項に含まれており、セキュリティ上の懸念を理由にテクノロジーの利用を控える一部消費者もいます⁴。人々の信頼を得ることがビジネス上の必須事項になったのです。顧客中心の企業には一貫して安全なカスタマーエクスペリエンスを提供することが求められています。透明性、データ保護、プライバシーに関する厳格な基準に基づいてデータを取り扱う組織は信頼が高まり、それに伴いブランドロイヤルティを得て市場シェアの拡大も図ることが可能となります。

ほとんどの種類のリスクが、エンタープライズ・リスクマネジメント、コンプライアンス、規制に基づく報告手続きなどにより競争上の優位性を得るために利用できます。KPMGが開発するアジャイルなテクノロジーとリスク低減の枠組みを利用することで、新しいビジネスモデルとデジタルアプリケーションを安全かつ大規模に導入することが可能です。保護やセキュリティといった課題にとどまらず、ビッグデータやプレディクティブアナリティクスを用いてリスクとチャンスのせめぎ合いを解消します。イノベーションを起こし、他社をしのぐ成果を出す力を損なわずに脅威を抑え込み、ガバナンスを担保します。

KPMGのエンタープライズ・リスクソリューションを利用することにより、顧客との約束を果たし、ステークホルダーの信頼を獲得することが可能です。

⁴ KPMGグローバルCEO調査2019

フォーチュン・グローバル
500企業の

84%

がKPMGのクライアントです

年間売上高は約

290億ドル

世界150カ国以上に
900のオフィスを構え、

200,000

人以上の従業員を擁しています。



業績が良いときも厳しいときも、人材への
投資は惜しみません。また、毎年約

10億ドル

を革新的なサービス、新しいテクノロ
ジー、戦略的買収に投じています。

KPMGは読み書きができない子供をなくすため、
現地の学校や地域と協力しています。

100 を超える世界中のコミュニティーで
低所得世帯の子供達に400万冊以上の
新品の本を提供してきました。

ここに紹介したどのデータも
KPMGの本当の価値を
表してはけません。

では、KPMGを
パートナーとする理由は
何でしょうか？

KPMGを パートナー とする 5つの理由

本当に重要な成果を届ける

KPMGは戦略と計画から実行、改善、ガバナンスに至るまで、俊敏かつ柔軟に対応します。クライアントの課題に対処し、ビジネスを最適化し、問題解決を支援するためにあらゆる知見を動員し、あらゆる手を尽くします。毎回確実に価値を提供できるのはそのためです。

クライアントのビジネスを熟知している

KPMGは、現在のトレンドと将来の課題の両方をとらえた深い業界知識を有し、脅威、規制改革、ディスラプション、ビジネスチャンス、イノベーションなど、今後予想される変化について包括的なインサイトを提供します。企業が直面する課題やプレッシャーを熟知しているプロフェッショナルが、豊富な知識と経験により支援します。

任務を確実に遂行する

新しいビジネスモデルを採用すると、組織全体に影響が生じます。重要な機能部門の運営方法を変える場合、人員やプロセス、税務、テクノロジーへの影響を考慮なくてはなりません。いわば点を結び、鉄壁の守りを敷く作業です。KPMGのコンサルタントはビジネスの仕組みに精通しているため、あらゆる業務においてリスクを管理し、価値を高めるための最適なスキルを持つ人材をそろえることができます。

テクノロジーを最大限利用する

昨今のビジネス上の課題は、ほぼすべてデジタルに関するものですが、テクノロジーは戦略を実行し、目的を果たすための手段でなくてはなりません。望む結果を実現するためのソリューションを決めるのはビジネス戦略です。レガシーシステムを欠陥も含めてすべて他社のサーバー上に再現するだけなら、クラウドに移行する意味はありません。KPMGがデジタル面で提供している最も重要な能力は、テクノロジーの最大限の利用を支援できることかもしれません。

クライアントへの責任を果たす

KPMGがクライアントから選ばれる客観的理由は、グローバルな事業展開、ビジネスインサイト、実践的なイノベーションなどさまざまです。しかし中でも決定的な理由は、提供する人材の質とコミットメントです。KPMGは、クライアントのために価値を創造し、信頼を築き、パフォーマンスを向上させることで、満足感と達成感を得ています。今の世の中を改善し、未来を担う世代により良い世界を引き継ぐ。それが、KPMGのコンサルタント全員が共有する目標です。

本当に重要な成果を届ける

クライアントのビジネスを熟知している

任務を確実に遂行する

テクノロジーを最大限利用する

クライアントへの責任を果たす

レガシープロダクトから
レガシーを築く
プラットフォームへ



消費者行動が大きく変わる中、創業100年のある製パン企業がデジタル化の道を模索していました。KPMGはプロセス、スキル、パートナーシップを見直し、顧客であるパン屋やパン職人にメリットがある形でそれらを再構築しました。コストを減らすことで資金を捻出し、米国のパン職人にオンデマンドサービスやサポートを提供する新しいデジタルビジネスプラットフォームを導入しました。KPMG **Connected Enterprise** のフレームワークを活用し、製パン業界のレジェンドがデジタル時代で成功するためのレシピをともに開発しました。

顧客を中心にビジネスを再構築できますか？

本当に重要な成果を届ける

クライアントのビジネスを熟知している

任務を確実に遂行する

テクノロジーを最大限利用する

クライアントへの責任を果たす



最新ニュース から 障壁の撤廃へ

ある大手ニュース放送局の財務部門、人事部門、サプライチェーン部門を業界最高水準に高めるうえで、**KPMG Powered Enterprise** がもたらすスピードとインサイトが大いに役立ちました。以後、ビジネス主導のアジャイル型マネージドサービスによりその水準を保つ支援をしています。Powered Evolutionは、業務の中断を最小限に抑えつつ、最大限のパフォーマンスを引き出します。業務を進めながら、継続的に改善を行うことができ、また、野心的な買収戦略を追求する際にはサービスを強化するなど、サービス内容を自在に調整できる柔軟性もあります。今すぐ成果が欲しい企業にも、明日への備えが欲しい企業にも、KPMGは価値を提供します。

先手を打ってビジネス機能を発展させるにはどうしますか？

本当に重要な成果を届ける


クライアントのビジネスを熟知している

任務を確実に遂行する

テクノロジーを最大限利用する

クライアントへの責任を果たす

サイバー攻撃から サイバーレジリエンスへ



ある大手金融機関でサイバー攻撃が急増した結果、消費者からの信頼が揺らぎ、市場シェアにも影響が出ました。そこで、KPMGはオープンソースのライブラリやビッグデータプラットフォームとクライアント固有の機械学習ツールを統合した、不正リスクプラットフォームを構築しました。毎週10億件ものデータレコードを分析しながら、回数を重ねるたびにフォレンジック機能とプレディクティブ機能が改善されていき、攻撃パターンの認識精度が向上しました。その結果、犯罪組織の攻撃は阻止され、顧客ロイヤルティは向上しました。

サイバーレジリエンスは、信頼に基づくイノベーションと成長の土台も築きます。

**消費者の信頼を得られる
データインテグリティを
確立できていますか？**

本当に重要な成果を届ける

クライアントのビジネスを熟知している

任務を確実に遂行する

テクノロジーを最大限利用する

クライアントへの責任を果たす

顧客サービスから
顧客満足度へ

ある大手携帯電話企業から、コールセンターに投資している金額のわりに顧客満足度が低いとの相談がありました。詳細な分析を行った結果、組織の分断と一貫性に欠けるプロセスが浮き彫りになりました。

そして、ディープアナリティクスと高度な機械学習に裏打ちされた**コネクテッドシンキング**により、社員と顧客の体験は一変しました。KPMGはビジョンの明確化からリソースの動員、価値の実現に至るまでのロードマップを作成し、計画実行を支援しました。今ではパーソナライズされ意図された体験が、顧客にとっても企業にとっても価値をもたらしています。

ロボットを導入すれば社員の効率は高まるのでしょうか？

本当に重要な成果を届ける

クライアントのビジネスを熟知している


任務を確実に遂行する

テクノロジーを最大限利用する

クライアントへの責任を果たす

買収戦略から 買収後の合理化へ





あるグローバル輸送企業の依頼を受け、根本的な業績改善プログラムに取り組みました。狙いは、長年の買収と多角化戦略を経て収益性を高めることにありました。KPMGはデータ駆動型トランスフォーメーションの推進を支援し、調達、価格設定、テクノロジーの管理、税務などの業務を合理化しました。データをさらに詳しく分析してみると、隠れた価値が眠っていることが判明しました。非効率を徹底的に排除した結果、1年目でEBITDAが20%近く改善しました。その結果、ビジネスは再び成長軌道に戻りました。

**ビジネスがもたらす
データを最大限活用でき
ていますか？**

大小さまざまな ニーズに対応

ビジネスモデルを刷新し、業界の破壊者となり、一足飛びに他社を追い抜きたいですか？ それとも単純に特定のビジネス上の課題を解決したいですか？ いずれの場合もKPMGにお任せください。テクノロジー計画を推進し、リスクを管理し、成果を実現し、価値向上を図ることを支援します。チャンスは至るところにあります。

コネクテッドシンキングでは、統合的なアプローチで全社が協調してデジタルトランスフォーメーションに取り組みます。それを可能にするコンサルティング能力は、多種多様なスキルやサービス、ソリューションに基づいています。そうした専門性や多様性を持ち合わせているからこそ、クライアントの状況に応じて明確な目的を持った多分野横断チームを編成することができるのです。KPMGが提供するコンサルティング能力は、特定の課題に対して独立したサービスとして個別に利用していただくことも可能です。

このような幅広い戦略的モデルだからこそ、KPMG Connected Enterpriseの8つの能力と重なる部分もあるかもしれません。KPMGは全世界で多岐にわたるサービスを提供しています。すべてを検討していただく必要はありませんが、ニーズに合ったサービスがきっと見つかるはずです。

KPMGには各ビジネス機能に関するプロフェッショナルとしての経験に加え、すべての主要業界に関する深い知識があります。だからこそ、クライアントの課題に精通し、優先事項に対して理解のある人材を配置できるのです。コンサルティングに限らず、税務やリスク、合併、買収など他の分野のプロフェッショナルがビジネスの観点から360度評価を行い、ビジネス変革に伴う予期しない結果や付随する影響も指摘します。

もちろん、これはすべてクライアントが課題を認識されていることが前提です。しかし、そもそも何をしなければいけないかを認識されていないこともあります。まずはビジネスの状況についてお聞かせ下さい。

どのような課題をお持ちですか？

デジタルトランスフォーメーションの力を利用したい

顧客の示す条件で対応したい


規制改革に伴う変更や複雑な手続きに対処したい

人とテクノロジーを駆使して
他社をしのご業績を上げたい

ステークホルダーの信頼を確保したい

合併と買収により短期間で価値を高めたい

**... KPMGがアドバイザーとなり
支援します。**



深い洞察力が 可能にする オーダーメイドの ソリューション

昨今の変化のスピードに対応するには、従来型のコンサルタントとクライアントの関係を越えた、これまでとは違う形のより深いコラボレーションが求められます。

KPMGは新しい協働の形、新しい人材の配置、トレンドのテーマに対する新しい見方を常に模索しています。そうすることで、従来の考え方にとらわれず、大きな問いに対し画期的な答えを出せるようにしています。抜本的な業務改善に向けて、クライアントとKPMGの双方に恩恵をもたらすテクノロジーの活用を取り入れたロードマップを作成する方法を熟知しています。

KPMG Ignition

KPMG Ignition Centerは、世界25カ所以上に展開するイノベーション創発拠点であり、KPMGの社員同士やクライアントとの新しい働き方を推進しています。21世紀の企業に求められる新しいタイプの人材を獲得できる競争力があり、最も革新的なソリューションに関するコラボレーションやデモンストレーションを実施する場として活用されています。

KPMG Lighthouse

データアナリティクス、インテリジェントオートメーション、人工知能などの専門知識に特化した、データ駆動型テクノロジーを主に扱うKPMGのグローバル・センター・オブ・エクセレンスです。1,700人のデータサイエンティストとデータエンジニアを含む1万2,500人の専門家ネットワークで構成され、毎年約7,000件の案件をサポートしています。確かなインサイトに基づきイノベーションを加速させ、多くの変革を成功に導いています。

KPMG Ignite

人工知能に関するKPMGの能力は多岐にわたり、分野に関する経験、統合されたオープンソースツール、独自に開発した知的財産、フレームワーク、パターンを含みます。このプラットフォームは、さまざまな情報元から得た多彩なデータ要素を処理し、AIに基づくオートメーションパターンを適用してインテリジェントなワークフローを生成し、ビジネス上の課題をより効率的に解決することを可能にします。現在の用途としては、コグニティブシステムを用いた契約管理、カスタマーインタラクションの分析、バーチャルアシスタント、チャットボットなどがあります。

KPMG Signals Repository

データの量は指数関数的なペースで増えており、AI、コグニティブシステム、プレディクティブシステムは多くのデータを必要としています。KPMG Signals Repositoryは、民間と公共部門で発生する従来型データおよび非従来型データの何万点ものシグナルを絶えず採取するリスニング・スコアリングプラットフォームであり、クライアントの意思決定に優位性をもたらします。

世界に 光を灯す

「KPMGは、最適なスキルを備え、かつクライアントの企業文化や世界観に合った人材でチームを編成することができます。どのサービスをご利用いただく場合でも、クライアントのビジネスを熟知し、課題に対して理解のあるコンサルタントが対応します。」

実世界におけるビジネス上の課題は、「テクノロジー」や「人材」といった単純な分類に当てはめられるものではありません。そのため、KPMGはクライアントとより緊密に連携し、私たちが持つ能力をクライアントのニーズに対して的確に適用します。

クライアントが直面する課題を建物の明かりに例えてみましょう。KPMGの多岐にわたる能力により、クライアントのニーズに応じてさまざまな組み合わせの窓に明かりが灯ります。KPMGの大きな強みの1つは、クライアントの状況に合致した適切なスキルを持つ人材を素早く集めてコンサルティングチームを編成できることです。

世界中に展開するKPMGは、クライアントの優先事項に対応できる体制を敷いています。多面的な能力を持ち、細やかなサービスを俊敏に、現地でお届けします。また、ネットワークの規模と大きさには、世界のビジネス界が直面する最大の課題に対応できるだけの力と守備範囲がありますが、

真の価値は対人レベルで感じていただけるものと考えています。KPMGは、最適なスキルを備え、かつクライアントの企業文化や世界観に合った人材でチームを編成することができます。どのサービスをご利用いただく場合でも、クライアントのビジネスを熟知し、課題に対して理解のあるコンサルタントが対応します。

KPMGは結果を重要視するため、クライアントの隣で協働し、地に足のついたコンサルティングを行います。クライアントの優先事項を見極め、ともに築く関係に確かな価値を見出します。平坦ではない道のりも、信頼が安心感をもたらします。信頼があれば、水面下に難しい課題が潜んでいても、進行を妨げられる前に素早く効果的に対処できます。ともに長い道のりを歩み、貢献と成果の両方で約束を果たすことで信頼に応えます。

「KPMG Connected Enterpriseのフレームワークは、組織戦略に基づく徹底的なビジネス変革を推進し、顧客第一の理念を軸にフロントオフィス、ミドルオフィス、バックオフィスの整合化を図ります。その実力は、業界リーダーとしてのKPMGの地位を確かなものとしています。

また、チェンジリーダーシップに特化した、最先端の行動科学とシステム思考に基づく同社のサービスも同様に際立っています。」

ALMレポート、2018年

「KPMGのPowered Solutionモデルは、エコシステムを形成するパートナーを通じて知的財産を組み込んだソリューションを提供し、クライアントに素早く成果を届けられる画期的なソリューションです。」

ALM- Cybersecurity Consulting 2019

私たちを 待ち受ける未来

どの企業も、明日には今日よりも優れた成果を求められます。

未来が不確実で課題に満ちたものであるなら、それは多くのチャンスが眠っていることも意味します。

目的地は1つではありません。トレンド、ディスラプター（ビジネスの創造的破壊者）、テクノロジーを巡る変化に終わりはありません。

テクノロジーはあらゆるものを可能にしますが、それが利益につながるとは限りません。

変革は物の見方です。アジリティは通貨です。レジリエンスは資産です。信頼は優位性をもたらします。

特定の課題に対するソリューションからビジネスモデルの変革に至るまで、KPMGはクライアントと協働し、優先事項を整理し、インパクトのある成果を上げるための支援をします。

ともにロードマップを作り上げ、最短期間で結果を出し、想像の先にある景色を見てください。

未来のビジョンをともに描き、実現しましょう。

ビジネスの力を結集して未来を掴みましょう。

Connected. Powered. Trusted.

問い合わせ先

KPMGコンサルティング株式会社

T: 03-3548-5111

E: kc@jp.kpmg.com

home.kpmg/jp/kc

home.kpmg/jp/socialmedia



本レポートで紹介するサービスは、公認会計士法、独立性規則及び利益相反等の観点から、提供できる企業や提供できる業務の範囲等に一定の制限がかかる場合があります。詳しくはKPMGコンサルティング株式会社までお問い合わせください。

本冊子は、KPMG International Cooperativeが2020年2月に発行した「Own your future - Connected. Powered. Trusted.」を一部編集し、翻訳したものです。翻訳と英語原文間に齟齬がある場合は、当該英語原文が優先するものとします。

ここに記載されている情報はあくまで一般的なものであり、特定の個人や組織が置かれている状況に対応するものではありません。私たちは、的確な情報をタイムリーに提供するよう努めておりますが、情報を受け取られた時点及びそれ以降においての正確さは保証の限りではありません。何らかの行動を取られる場合は、ここにある情報のみを根拠とせず、プロフェッショナルが特定の状況を綿密に調査した上で提案する適切なアドバイスをもとにご判断ください。

© 2020 KPMG International Cooperative (“KPMG International”), a Swiss entity. Member firms of the KPMG network of independent firms are affiliated with KPMG International. KPMG International provides no client services. No member firm has any authority to obligate or bind KPMG International or any other member firm third parties, nor does KPMG International have any such authority to obligate or bind any member firm. All rights reserved.

© 2023 KPMG Consulting Co., Ltd., a company established under the Japan Companies Act and a member firm of the KPMG global organization of independent member firms affiliated with KPMG International Limited, a private English company limited by guarantee. All rights reserved. C23-1025

The KPMG name and logo are registered trademarks or trademarks of KPMG International.

Designed by CREATE | CRT122141